

小河原孝生

■全体講評

審査員として4年目になりますが、応募用紙の提案と短時間のプレゼンだけでは、皆さんの活動を垣間見たにすぎないことに、いつも心を痛めています。しかし、これまでの経験を活かして、審査員としての中立性と、まちづくりの応援団としての狭間で、緑と生物多様性に配慮したまちづくりの視点から、行間を読むような努力を心がけているつもりです。皆さんの活動が、地域から世田谷全体へ、そして日本を元気にする事を願っています。

■はじめの一步部門

0-1. 子どもでつながるハートくらぶ

障害も個性の一つとして、多様な存在が受け入れられるまちづくりを目指して、同世代・異世代がつながる様に、ファンドの輪を活用してください。

0-2. あかねこうぼう

地域共生の家で営まれる手仕事を楽しむ会や、子どものワークショップが拡がり、地域にたくさんの「居場所」が生まれる活動につながることを期待しています。

0-3. トランジション世田谷 茶沢会

強制的な節電ではなく、一人ひとりがエネルギーを自給できる、持続可能なまち・暮らし・社会経済の仕組みづくりへ、活動の輪が拡がることを期待しています。

0-4. (仮称) 在宅チーム医療を考える会準備会

地域ぐるみで在宅療養者支援を進めるために、多職種間での連携のための場づくり・情報交換を通して、誰もが参加できる交流の場を上げましょう。

0-5. どんどんガガガ隊!

子どもの輝く笑顔は、町中を元気にしてくれますが、巨大画の制作が、どのようなまちづくりにつながるのか? 1年後の報告を期待しています。

0-6. フレンドリーグループ

21年間放置された広場が、花であふれる憩いの場になり、花を介して地域の人々のコミュニケーションが生まれ、まちが元気になる様子が目に見えるようです。

■まちづくり活動部門1回目

1-1. パーマカルチャーガーデン世田谷

マンションの外回りを、パーマカルチャーガーデンとして活用し、講座や広報活動を通じて地域に開かれた場にするアイデアは、コミュニティガーデンのモデルケースとして期待しています。プレゼンでは、楽しそうな活動の様子が伝わりましたが、謝金が多いことと受益者の負担を期待して減額しました。

1-2. からすやま地域の力を集める会

まちづくりは、ハードよりもソフトから・・・まちの拠点づくり（昨年度助成申請）では、用地の確保が難しく、残念ながら辞退となりましたが、その活動の中から、着実にネットワークづくりの芽が育っていることを確信しました。消耗品の一部は販売物にもなることから減額しましたが、ぜひ3年間での自立を目指してください。

1-3. きっかけファクトリー

耕作放棄地の「墾活」は、農村は元より都市部でも大きな課題となっています。しかし、土地の確保が非常に困難なこと、受益者から地域へメンバーの拡大が見えないことなど、活動の進展が未知数な事から減額しました。変化を起こすきっかけづくりから、墾活を通じてのコミュニティづくりへ、来年の報告を期待しています。

1-4. 千歳小おやじの会

PTAから独立した「おやじの会」として、初めの一步からさらに学校のイベント以外の場にも活動が広がっています。ぜひ、①資金的な独立、②人材の確保、③家族を含む周囲からの理解について、塚戸小学校おやじの会などとともに、おやじの会によるまちづくりのモデルとなるように、持続可能な活動を進めてください。

1-5. NPO 法人 玉川にエコタウンをつくる会

再開発に伴う緑の保全・再生の重要性は良く理解出来ますが、謝金が多いことと上映会の参加費を期待して減額しました。内容はまちづくり活動そのものなのですが、政策提言は、事業プロセスへのタイミングがカギであり、まずは成果の見える駅前グリーン作戦など、地域住民と一体化した活動を進め、賛同者の幅を広げましょう。

1-7. 街づくりの仲間たち

初めの一步の試みを経て、街づくり条例改正への参画、交流の場の設定、情報の発信など、準備が整って来たようです。全体会や分科会、区民・行政職員・区議等が一同に会する場が立ち上がることを期待しています。

1-8. ころからだ Selfeel(セルフフィール)

初めの一步では、初めての子育てに悩むお母さんたちが元気になる、アロマ空間づくりを目指しましたが、さらにメンタル不調や地域からの孤立など、受け入れの幅が広がっています。地域の課題やまちづくりとのつながりを意識しながら・・・肩の力を抜いて、出来ることから少しずつ進めましょう。

1-9. Welcome Ch

初めの一步では、番組づくりのワークショップを通して、外国人と住民のネットワークづくりのための、情報発信を行うことが出来たようです。番組本数を増やすよりも、区民参加の拡がり、自主財源の確保などを期待して減額しましたが、ワークショップを自己目的化することなく、国際交流・国際理解によるまちづくりを期待しています。

1-10. 働きたいママの応援 Cafe

子育てと仕事の両立は、社会的な課題ですが、受益者利益になる謝金と賃借料を減額しました。3年間の段階的な目標を持って、まちづくりにつながるソーシャルビジネスとして発展していくことを願っています。

■まちづくり活動部門2回目

2-1. フラワーランド園芸ミニディ

拠点が3カ所に拡大してメンバーも増え、小学生など幅広い区民との交流が活発になり、ほぼ全員が満額をつけました。花の種子からの育苗、受益者の負担や自己資金の確保など、活動の目標が明確になり、地域の住み良い環境づくりに向けて、少しずつメンバーの拡大と開かれた組織づくりを目指してください。

2-2. 東京グリーンプロジェクト

家庭でペットボトル堆肥をつくり、子どもに無農薬野菜を！という活動の拡がりや成果は理解できますが、謝金や外注費が多いこと、伊豆への交通費は受益者負担が望ましい事などから、減額としました。子どもゆめ基金との棲み分けに注意しながら、学校農園や福祉農園を通じて、地域連携・まちづくりとのつながりを構築してください。

2-3. 放課後あそび舎

受益者が限られるのでは・・・と云う昨年の疑問に対して、子どもだけではなく親同士の協力が拡がり、区域外や私立の子どもの参加が増えるなど、多様な子ども同士の交流の場としての発展が見られ、全員が満額をつけました。ボランティア・スタッフの目処も付き、さらに活動の対象区域を拡げて、まちづくりのモデルケースとしてください。

2-4. 野川(世田谷区部)の多自然川づくりを考える連絡会

アレチウリの除去活動や専門家の講演会、サポートセンターの支援、水生植物の移植など、具体的な成果が見られ、満額の助成となりました。多自然型工法についての専門家の支援や、建設事務所の協力も得られるようになり、今後は4団体の連絡会というネットワーク組織のマネジメントや、幅広い区民の参加形態を検討しましょう。

2-5. SAN/せたがや地域共生ネットワーク 宮坂・経堂・赤堤

5つの活動拠点に夏みかんひろばも加わり、活動の拡がりを感じられましたが、謝金が多いことから少し減額しました。自立した拠点をネットワークすることの目的と効果を検証し、今後のまちづくり活動に役立てていただければと思います。

■まちづくり活動部門3回目

3-1. 芦花公園しあわせの野音の会

去年は、災害時の活動とも協働する計画を立てていましたが、実際に震災復興支援に役立ったと思います。最後の年は、パークライブの幅広い広報や、他の公園でのパークライブの実施など、地域活動団体との交流の中で、音楽を通じたまちづくりの輪を広げましょう。持続可能な活動のために、運営資金面での自立を目指してください。

3-2. 豪徳寺駅周辺風景づくりの会

パンフレットの配布やワークショップの開催、調査イベントなどを通して、滝沢道の価値を知らせる活動の基盤が固まったように思います。3年目の今年は、さらに賛同者を増やし、自立した運営を続けるために、「標識板」の設置についてもワークショップを行うなど、まちづくりへの参加の機会を広げましょう。

3-3. 岡さんのいえ TOMO

「つながる」から「ひろがる」へ・・・去年は地域共生の家として、数々のイベントで地域とのつながりが拡がりましたが、経済的な自立はこれからの課題・・・最良のシナリオに向けて、運営委員や支え隊員の輪が広がり、「世田谷のまちを元気にする地域共生の家」のモデルになることを期待しています。

3-4. わいわいコミュニティ・たまがわ

去年は、通常のカフェ以外に、父親向けの講座も開催し、運営のお手伝いも増えているとのこと・・・今年は、参加者企画の講座や小冊子の発行、中学生とシニア層向けの場の準備など、参加者から世話役への移行やシニア世代の参加促進などが着実に計画され、自立した運営のモデルとなるように期待しています。